

植物ポリフェノールを化学から読み解く ～構造解析及び化学安定性に関する研究～

科学分析機器が劇的に発達を遂げる中で、天然から様々な機能性物質が発見され医薬品や健康食品として利用されています。植物中のポリフェノール類もその一つであり、最近の健康ブームの中で、様々な商品に「ポリフェノール〇%含有」といった表示を目にするようになりました。しかし、ポリフェノールといっても様々であり、中には化学構造すら明らかになっていないものもあります。さらにその含有量は産地、季節、食品加工の過程などによって容易に変動します。その一方で、機能性食品表示のように、科学的根拠を求められるようになり機能性物質の正確な定量が必要とされるようになりました。我々は、植物から様々な物質の分離、構造決定、定量及びその化学的安定性について研究を行っています。例えば、赤米の栽培・収穫後における量的な変化についての研究では、収穫後の貯蔵期間が長くなることにより機能性成分の一部が別の物質に変化することを明らかにしてきました。我々の研究成果は、特に食品の機能性や安全性に関して科学的根拠に基づいた情報の提供に寄与します。

応用生物科学部
応用生命科学課程
分子生命科学コース

准教授 柳瀬 笑子

